

- ◆ 2017年12月の国連総会で採択・宣言
- ◆ 海洋科学の推進により、持続可能な開発目標(SDG14「海の豊かさを守ろう」等)を達成するため、2021-2030年の10年間に集中的に取り組みを実施

## 国連海洋科学の10年

取組期間  
2021-2030

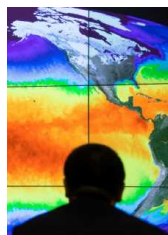
## 2030 持続可能な開発目標の達成

### 【目的】

- 海洋の持続的な開発に必要な科学的知識、基盤、パートナーシップを構築する。
- 海洋に関する科学的知見、データ・情報を海洋政策に反映し、全ての持続可能な開発目標達成に貢献する。

### 【重点的に行う取組み例】

- 海洋システムや地球・気候システムにおける海の役割等に関する知識を広める。
- 健全な海洋環境の増進と生態系システムに考慮した経済活動を支えるための研究を推進し、成果を幅広く共有する。
- 海洋に関する事故・災害によるリスクを低減するための早期警報システムを構築する。
- 海洋観測システム、データシステム等の基盤を強化する。
- 海洋科学の知見や海洋技術の移転・共有及び教育・研修を通じた人材育成を促進する。
- 民間部門を含めた海洋科学の関係者間の連携と政策決定者への迅速な情報伝達を強化する。



※上記はユネスコIOC事務局資料を基に作成(議論の進捗に応じて今後内容が更新される可能性あり)



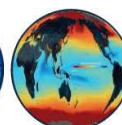
14 海の豊かさを守ろう



14.1 Prevent and Reduce marine pollution



14.2 Manage and Protect marine & coastal ecosystems



14.3 Minimize impacts of Ocean Acidification



14.4 Implement science-based management Plans



14.5 Conserve coastal and marine areas



14.6 Prohibit certain forms of fisheries subsidies



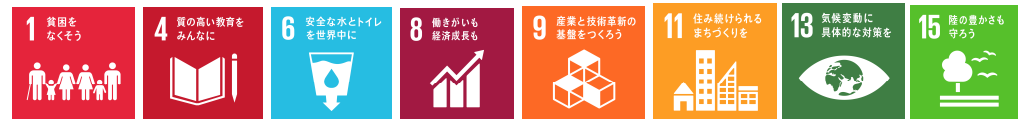
14.7 Increase socioeconomic benefit of SIDS

- 14.a Increase scientific knowledge ? Transfer of technology
- 14.b Provide access for artisanal fisheries to marine resources & markets
- 14.c Enhance conservation & sustainable use of oceans via international law

## 理想的な海の実現

Healthy and Safe Ocean

## 他のSDGsの達成にも貢献



## ユネスコとの関係



- ◆ ユネスコIOC(※)において、「国連海洋科学の10年」に向けた取り組みを推進

### 「海洋科学の10年」の国連への提案主体

- ⇒ ユネスコIOCにおいて2年にわたり提案を審議。
- ⇒ ユネスコ総会を経て、2017年の国連総会で採択・宣言

### 「海洋科学の10年」の実施計画策定機関

- ⇒ 2021-2030年に実施すべき具体的な取り組みをまとめ、国連総会へ提出

### ※ユネスコIOC: 政府間海洋学委員会

- 国際協力により地球規模での海洋学に関する知識、理解増進のための科学的調査の推進を図ることを目的に1960年に設立
- 海洋科学調査及び研究活動に係る唯一の国連機関

